

令和6年5月14日
港湾局産業港湾課

クルーズ旅客の利便性や安全性の向上に向けた検討を行います
～第1回「クルーズ旅客の受入機能高度化に向けた検討会」を開催～

クルーズ旅客の利便性や安全性の向上に向けたクルーズ旅客受入施設の適正な配置などを検討するため、第1回「クルーズ旅客の受入機能高度化に向けた検討会」を開催します。

国際クルーズが本格的に運航再開して2年目となるところ、外国クルーズ船の寄港回数2,000回を超えること等の観光立国推進基本計画（令和5年3月閣議決定）の目標達成のために、クルーズ旅客の満足度を向上させ、リピート寄港を含めた寄港を誘致する取組が重要となっています。

そのためには、クルーズ船寄港時の旅客受入れについて、さらなる利便性や安全性の向上（乗下船や二次交通への移動）が必要となります。

今般、クルーズ旅客のさらなる利便性や安全性の向上に向け、クルーズ旅客受入施設を港湾管理者等が整備する際の活用を想定した「クルーズ旅客の受入機能高度化に関するガイドライン（仮称）」を策定するべく、クルーズ旅客受入施設の適正な配置などを検討するための「クルーズ旅客の受入機能高度化に向けた検討会」を開催することとしました。

検討会での議論は3回を予定しており、令和6年度内をめどにガイドラインの策定を行う予定です。

記

1. 日 時 : 令和6年5月20日（月）10:30～12:00
2. 場 所 : 航空会館ビジネスフォーラム 701・702 会議室
（東京都港区新橋 1-18-1 航空会館 7階）
3. 主な議事 : ○クルーズを取り巻く状況
○我が国のクルーズターミナルの現状
4. 構 成 員 : 別紙のとおり

- ・本検討会は非公開ですが、冒頭挨拶（議事開始前）のカメラ撮りは可能です。
- ・カメラ撮りを希望される方は、5月17日（金）12時迄に、以下のメールアドレスに、氏名（ふりがな）、所属、連絡先（電話番号、メールアドレス）をお送りください。
送付先：hqt-cruise_contact★gxb.mlit.go.jp（※「★」を「@」に置き換えてください。）
- ・会議資料及び議事概要は、後日、国土交通省ホームページにて公開する予定です。

【問い合わせ先】

○港湾局産業港湾課クルーズ振興室 柳、柏田、深野
電話：03-5253-8111（内線 46-424、46-423） 直通：03-5253-8673

クルーズ旅客の受入機能高度化に向けた検討会 構成員名簿

(敬称略・順不同)

＜学識経験者＞

小島 肇 琉球大学地域連携推進機構 准教授
藤生 慎 金沢大学融合研究域融合科学系 准教授
柴崎 隆一 東京大学大学院工学系研究科システム創成学専攻 准教授
齊藤 由里恵 中京大学 経済学部 准教授

＜関係団体＞

村山 公崇 日本外航客船協会 (JOPA) / 郵船クルーズ執行役員
堀川 悟 日本国際クルーズ協議会 (JICC) / カーニバルジャパン社長
設楽 徹 外航船舶代理店業協会 (JAFSA) / ウオーレム シッピング リミティッド
日本支社長
仁田 一郎 日本旅客船協会 / 瀬戸内海汽船(株) 代表取締役社長
和泉 智久 全国クルーズ活性化会議 / 神戸市港湾局副局長

＜行政関係者＞

東郷 康弘 出入国在留管理庁 出入国管理部 出入国管理課長
馬場 義郎 財務省 関税局 監視課長
吉岡 明男 厚生労働省 健康・生活衛生局 感染症対策部企画・検疫課
検疫所管理室長
指田 徹 国土交通省 海事局 外航課長
伊勢 尚史 国土交通省 海事局 内航課長
久田 成昭 国土交通省 港湾局 産業港湾課長
酒井 浩二 国土交通省 国土技術政策総合研究所 港湾・沿岸海洋研究部長

＜事務局＞

国土交通省 港湾局 産業港湾課